



一般社団法人
日本胡麻協会
Japan Sesame Association

広げよう
ごま
で
幸
せ
づ
く
り



日本胡麻協会 会報

【第22号 2018年9月1日発行】



〒604-0845

京都市中京区烏丸御池上る 二条殿町546

NT都ビル9階 わだまんサイエンス内

TEL: 075-222-7318 / FAX: 075-222-0318



はじめまして！ 千葉県船橋市で「胡麻」に携わらせていただいている服部と申します。

大学を卒業してから、17年間、障害者（児）のお出かけや生活のサポートをする仕事をさせてもらっています。

もともとは「胡麻」というものに対し、坦々麺に入っているもの（ラーメンが好きなので）ぐらいの認識でしたが、当法人でゴマと関わるようになってからは、いろんなバージョンの味を食べたり、搗ききたてのゴマを食べたり（食べてばかりですが・・・）と、すっかり大ファンになりました。カフェすまいるで、ゴマランチをいただく際には、どの味をかけよう（最近ではペッパーとガーリックがお気に入りです）か選ぶのが毎回楽しみです！

セサミマイスターの試験は平成29年5月に受けさせていただき、合格することが出来ました。それから・・・そんなにゴマを搗けてはいないのですが、搗かせていただいたときに、ご迷惑をおかけしないようにと、当法人の先輩セサミマイスターに「どのくらい搗いたか？」「味はどうだったか？」「苦味は？」「色は？」など、日々、ごまについて話しています。

最終的には深堀社長から研修の際に教わった「愛があれば・・・」「ラッキー！」ということで話はまとまるのですが（笑）

私が普段に行っている仕事と繋げて考えると、障害のある方（に限らずですが）と接する際に、●謙虚心★感謝心■平和心（愛とラッキーも！？）はとてもよいワードだと思います。

毎日の支援、予測のつかないことが多いのですが、●自分はまだまだと準備や鍛錬を怠らず★関わらせていただいて、貴重な体験（滅多にないことがたくさんあります）ありがとうございます■本人だけでなく、ご家族も幸せであるように、と勝手に支援に置き換えています。

福祉の仕事をずっと続けてきて、なかなか他業種の方と関わる機会が少ないので、ゴマを通じて様々な方と話すことが出来、とても嬉しく思います。まだまだマイスターとして勉強することがたくさんあると思いますが、少しでもお役に立てるよう、努めていきます。研修や食事会などで会った際にはいろいろ教えて下さい！

縁を大切に

ごま福堂 道後店

越智哲也

皆さま、はじめまして

私は、松山市、道後のごま福堂に縁あって働いております、越智と申します。

今年の5月にセサミマイスター講習を受け、なんとかマイスターの資格を取得致しました。

道後は全国的にも有名な観光地ということもあり、全国各地から来られるお客様、海外からのお客様、そして地元のお客様と、日々、様々なお客様と接しております。

そんな日々の中で、やはりお客様の中には、「この胡麻美味しいですね」とか、お店の前で流している深堀社長の映像を見たお客様から、「この胡麻を撞いてる人見たことあります」

など、わだまんサイエンスの胡麻を知ってるお客様が時々、ご来店されます。

その度に、そんなに有名なんだなあと世間知らずな私には驚くばかりでした。

今年の5月、セサミマイスターの資格を取るため、深堀社長の講習に参加させて頂きました。

駅から、会社に着くまでの車中でも、深堀社長は、胡麻に対しての熱い想いを話して下さり、講習では、さらに熱く語って下さる姿に、また圧倒され、その時、私は感じました。

こういう熱い想いを持ち続けてきたからこそ、胡麻を創造する企業としてご成功されたんだなあと。

ごまで世界平和、誰も考えつかないと思います。

深堀社長が会社を興す前、周りにいたご友人の方々からも、このことを話したことで心配されたそうです。そもそも、なぜ胡麻が世界平和につながるのか、私には疑問でした。

深堀社長が書かれたゴマソムリエ語録にはこう書かれていました。

胡麻の産地である国は貧困だが、苦勞から得た素敵な愛が存在している。逆に、裕福な国は生活が楽になった反面、その愛を失いかけている。ごまから作られるフェアトレード。

その架け橋になりたいのが私の夢。 ごまで世界平和。

すごいな、こんなこと考える人がいるのか、と唖然としてしまいました。

そんなこと出来るの？と自分なら思ってしまいそうです。

しかし、この想いをぶれずにやってきたからこそ、深堀社長の胡麻を求めて、全国各地から買い求めて下さるお客様がいらっしゃるのだと講習を受け、強く感じました。

講習の際、深堀社長は言われていました。

どんな時でも、ラッキーって口癖のように言っていると、不思議と幸せな気持ちになりますよ、その幸せな気持ちで胡麻を撞けば、胡麻も美味しい胡麻になってくれるんです。

「心次第」、胡麻を美味しく撞くのも

自分の心次第。

より良い人生にするのも自分の心次第。

うわぁ…深いな、なにかズドンと響くものがありました。

確かに、この講習を受けている時間、

その場にいる皆さんの笑顔が光景として今でも頭に残っています。

深堀社長の笑顔もまた、社員の皆さんの笑顔を引き出し、職場から、和の空気を発しているようでした。

どこのご家庭にも胡麻はあるかと思います。それが美味しい胡麻ならご家庭の食卓は、もっと豊かになることでしょう。

深堀社長の理想とする、愛のある食卓を日本中に呼び戻したい

というこの想いに対して、私も少しでも役に立てるよう

ここの胡麻を広めていくことにさらなる努力をしたいと思います。

このご縁を大切に、

すべてのことに感謝し、人のために

自分ができること、伝えられること、この仕事を通じて、発信していきたいと思います。

ごま福堂 函館店
村瀬 舞

初めまして。函館ごま福堂 村瀬です。

私は、去年7月に寺子屋に、入社し、ごま福堂配属になりました。

1年経ち、セサミマイスターの試験・講習を受けさせて頂ける事になりました。

深堀理事長にお会いし、ためになるお話をたくさん聞けて、本当に楽しく、あっという間の2日間でした。

胡麻の勉強だけでなく、自分の人生においても、気づかされる事がたくさんありました。

深堀理事長は、本当に優しく、心を大きく持ってる方です。

私も、深堀理事長のように、

おかげさまの心

ありがとうの心

世のためひとのための心

を、常に心に持ち、胡麻を通じて、世界平和に少しでも貢献出来れば、嬉しく思います。

函館ごま福堂はもちろん、私の搗いた胡麻を求めて買いに来てくれるお客様が少しでも現れる様に、美味しい胡麻・お店作りをしていきたいです。

そして、常に笑顔を忘れず、与える人間になりたいです。